

今月の題字



熊野第三小学校6年生
中村 海輝さん

町の人口と世帯数

平成25年9月30日
(前年同月比較)

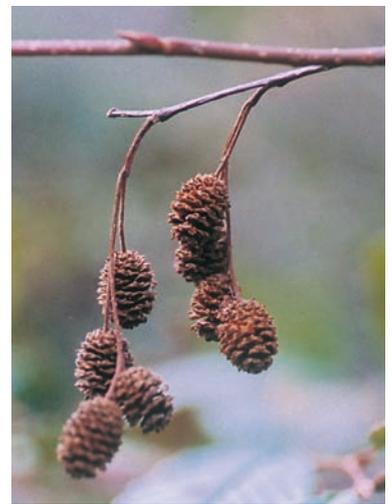


(住民基本台帳)

熊野の自然 (290)

ヒメヤシャブシ

(カバノキ科)



熊野第三小学校 1年 中東 のんさん

【評】あじさいやそのそばで虫たちが楽しそうに遊ぶ様子が、最後まで丁寧にかかれていいます。花の上で友達と一緒に勉強。見ていてとっても楽しい気持ちになる絵です。



熊野第三小学校 3年 本田 七奈史さん

【評】平仮名の特徴を考えて、柔らかな筆使いで書けています。次の画へのつながりがとてもなめらかです。素晴らしいです。

卵形の果穂が数個、枝から垂れ下がっています。果穂がごつごつしているのが「夜叉」^{ヤシ}、ヌルデの虫こぶ(五倍子)と同様にタンニンが多く黒色の染料に使うため「夜叉五倍子」^{ヤシゴ}。その中で果穂や葉などが一番小さく「姫」が付いています。子どもの頃、父に名前を尋ねると「ハゲシバリ」だと教えてくれました。ハゲ山の砂防、緑化に用います。やせた土地でも成長が速くよく育つのは、空中の窒素を固定する根粒菌と共生しているため、葉の窒素含有量が多く光合成の能力が優れているからです。

晩秋、葉は緑色のまま落ちます。葉の窒素や緑色の色素を枝に回収しないためで、養分の多い落葉です。やせた土地でアカマツと一緒に植えると、アカマツだけ植えた場合と比べ、アカマツが著しく成長した例があります。それで、「肥料木」とも呼ばれます。花期は3月後半から4月。雄花穂は長さ4〜6cmの尾状で、枝先に1〜3個垂れ下がります。雌花穂は、その下に3〜6個つきます。雌雄同株の風媒花です。果穂には、両側に翼をもつ小さな果実が多数入っていて、風で散布されます。葉は互生し、長さ5〜10cm。側脈が平行に多数並び、20〜26対もあるのが特徴で、縁は細かい重鋸歯です。

【写真・文】
緑花文化士 富沢由美子

県内市町発!!

おすすめイベント

ピクニック

【火とグルメの祭典
あきつフェスティバル】

安芸津内外のグルメ特産品販売のほか、11月9日午後5時45分からは、万葉にちなんだ「万」の火文字が保野山の山頂に赤々と浮かび上がります。

時11月9日(土)、10日(日)午前9時〜午後6時(10日は午後5時まで)

所安芸津市民グラウンド
問あきつフェスティバル実行委員会(0846・45・1623)



(商工観光課)